

問

交差点防護柵の 設置基準は

答

優先順位を整理し、進める



新政とうかい
ますい ふみお 議員

問
電線の地中化につ
いて

問 村内の通学交差点には防護柵が設置されているが、設置基準はどうなっているか。

答 対象となる2車線以上の交差点が多くあるため、交通量などを見極めながら設置していく考えである。昨年度は、新規道路の開通に伴う5カ所の交差点を優先した。今後は、安全点検に基づき舟石川も含め児童生徒の多く利用する交差点など優先順位をしっかりと整理し進めていく。



防護柵の設置が望まれる舟石川小学校入口交差点

問 6号拡幅にて無電柱化を計画しているが、電線の地中化における本村の状況と現在の将来計画は如何に。

答 村では駅東大通りが対象で、県の緊急輸送道路である村立東海病院から県道豊岡佐和停車場線までの500m区間につき新設を制限している。また、国道6号東海拡幅の那珂市向山から石神外宿までの3.1km区間に關して、国土交通省常陸河川国道事務所より無電柱化を行う計画であると確認している。

問

避難計画、 駐車場不足の対策は

答

付近に確保、問題視する施設なし



あべ こうじ 議員

問 広域避難計画で、避難所の収容人数が一人当たり2㎡でよいとするのは、粗雑な割り振り。実効性がない。厳密な再チェックが必要。また、収容人数に見合った駐車場が確保できる計画ではない。対策は。

答 県等と図面等で確認中。駐車場は不足なら付近に確保するなど代替方法も検討され、大きく問題視する施設はないと認識。一方、他自治体で駐車場問題が顕在化したケースも聞く。状況を精察しつつ、取

問 かつて私は守谷市に住んでいた。駐車場不足の施設が多いのが実感。県と厳密な調整を。村長の考える避難計画の実効性とは。どう実証するのか。

答 計画で規定した一つ一つの部分や内容が連関しながら、有機的に機能するのかを確認することが重要で、実動型の大規模・広域的な訓練による検証がなされ、最終的には国の緊急時対応や県の計画などとの整合性、他機関との連携がとれていることで担保されているものと考えている。



2019年6月の避難訓練時に展示されたトイレ